

《担当者名》○平 典子 [hiraan@hoku-iryo-u.ac.jp]  
 熊谷 歌織 [kaori@hoku-iryo-u.ac.jp]  
 三津橋 梨絵 [mitsuhashi@hoku-iryo-u.ac.jp]  
 佐藤明子 (兼任)

【概要】

がんサバイバー・家族の心理・社会的問題，セルフケアの発揮に対する援助方法として，リソースの活用とプログラム開発について学ぶ。サポートグループなどの心理・社会的介入，セルフマネジメント教育プログラムについては，計画から実施，評価の過程を学ぶ。また，看護チームに対する教育役割に関して，指導計画から実施，評価の過程を学ぶ。さらに，在宅での生活を支えるための連携のありかたを探究する。

【学修目標】

1. がんサバイバー・家族の心理・社会的問題に対して活用できるリソースの種類と機能を説明できる
2. サポートグループによる心理・社会的介入，セルフマネジメント教育プログラムについて，企画から運営の一連の過程を理解できる。
3. 看護カウンセリングの技法を理解できる
4. CNSの教育役割について，教育計画から評価の一連の過程を修得する
5. 在宅療養における連携のあり方，退院調整部門の役割を探究できる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 2	がんサバイバー・家族の心理・社会的問題に対する看護援助1	1) がん相談支援センター等の機能を探究する；がん相談支援センター・患者サロンの見学 2) がん相談支援センター等における看護師の役割を探究する	平 熊谷 三津橋
3 ) 4	がんサバイバー・家族の心理・社会的問題に対する看護援助2	1) 看護カウンセリングの重要性と発展を整理する 2) 看護カウンセリング技法を修得する；演習	平 熊谷 三津橋
5 ) 6	がんサバイバー・家族の心理・社会的問題に対する看護援助3	1) サポートグループに参加し，グループ支援の意義と方法を探究する 2) セルフヘルプグループ（患者会，NPO団体）の活動を整理する 3) サポートグループ，セルフヘルプグループの意義，構成要素，運営法を比較・整理する	平 熊谷 三津橋
7 ) 9	がんサバイバー・家族の心理・社会的問題に対する看護援助4	1) 特定の対象に対するサポートグループの運営について企画する；演習 2) サポートグループのファシリテータ役割を修得する；演習	平 熊谷 三津橋
10 ) 11	セルフマネジメントを促進する看護援助	1) セルフマネジメントの概念を整理する 2) 特定の領域におけるセルフマネジメント教育プログラムについて，目的，内容・方法，評価法を探究する；文献検討	熊谷 平 三津橋
12 ) 13	看護チームに対する教育役割	1) 特定のテーマに関して，組織・チーム分析，計画立案，評価指標および評価方法を検討する；演習 2) 1) について所属する施設において実施し，評価する	平 熊谷 三津橋
14 ) 15	在宅で療養するサバイバー・家族に対する援助	1) 在宅医療・ケアにおける課題を考察する 2) 在宅療養における連携のあり方，退院調整部門の役割を探究する	平 佐藤 熊谷 三津橋

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

課題レポート（50％）、プレゼンテーション（25％）およびディスカッション（25％）から総合的に評価する。

**【教科書】**

随時提示する

**【参考書】**

随時提示する

**【学修の準備】**

関連資料および図書を熟読して臨む。

**【学修方法】**

各テーマの課題に対するプレゼンテーションとそれに対するディスカッションにより学習を深める